



教育実習

5月27日(月)から6月7日(金)の2週間、浅江中学校に教育実習生が来ています。昨今、教員のなり手不足が叫ばれる中、山口県の学校教育(日本の学校教育も)を支えてくれる可能性のある貴重な人材です。浅江中としては、実習生の学びを最大限サポートしながら、実際の学校現場を感じ取ってもらえるようにしたいと思います。

以下、実習生の自己紹介です。

教育実習をさせていただきます、山口大学の4年生です。よろしくお願いします。出身はお隣の田布施町です。自分の中学生時代と比べて、浅江中学校の生徒さんはとても元気で素直な子が多いと感じます。挨拶をするととても元気に返してくれるため、幸せな気分になります。授業の中でも積極的に発言する生徒が多く、委員会や系の活動にも一生懸命な姿をよく見かけます。こんな素敵な浅江中学校で教育実習できることを幸せに思います。

私の担当している教科は美術科です。指導教官の先生は、私の中学校時代の恩師でもあり、こうしてまたご指導していただけることがとてもうれしいです。美術の授業では、皆さんに楽しんでもらいながら、しっかり内容が分かる授業を目指したいと思っています。短い間ですが、皆さんと仲良くなりたいと思っているので、ぜひ気軽に声をかけてみてください!



水泳の学習に向けて ～プール清掃～

先日配付した「水泳学習の参加について」でお知らせしたとおり、6月17日から、本年度のプール授業がはじまります。浅江中は、校区内に海、川があるため、水難事故については、本人、家庭、地域がそれぞれの立場で意識する必要があります。学校としては、保健体育科の授業の中で、子どもたちが水に親しみながらも、必要以上に水を恐れることがないように、泳力の向上を目指し、身を守るすべを身に付けることを目的としています。

5月30日には、2、3年生がプール清掃を実施し、きたる6月17日に向けた準備をしました。Facebook 等でもお伝えしている通り、浅江の子どもたちの清掃活動は抜群です。日々の掃除活動等で身につけているノウハウをここでも遺憾なく発揮していました。無言で黙々と清掃をし、+αの作業まで行う子どもたちはさすがです。この日の活動でプールはすっかり綺麗になり、本日プールへの注水を開始しました。

